

香川大学創造工学部の学部長は、2025年10月1日  
現学部長の末永慶寛(2019年10月1日～、建築・都市環境コー

から吉田秀典(建築・都市環境コース教授)が就任。  
ス教授)との対談を通じ、学部の未来ビジョンについて語ります。

創造とは、発見に始まり、  
工夫を経て、新たな価値を生み、  
人々の暮らしを豊かにするモノ。

現学部長 末永慶寛

2018年に工学部を改組して、  
創造工学部を創設しました。  
工学部という組織に変化を求め、中心に立って  
頑張っていたのが吉田先生。  
当時を思い出すとまさに「盟友」。

研究科長は10月からも務め、  
微力ながら学部のサポートも続けます。  
さて私が学部長になって、  
関係者の理解を得ながら  
「和を以て貴しとなす」という  
現場の空気感を作ってきたつもりです。  
その部分は引き継いでほしいです。

もう一つあります。  
この研究なら香川大学創造工学部という、  
誰が聞いても同じ答えが返ってくる、  
全国から受験生が集まる人気の学部にな  
ってほしいと期待しています。

最後に、学生のみなさんへ  
メッセージをください。

創造とは、夢を共有し、  
未来を共創する  
対話である。

次期学部長 吉田秀典  
(2025年10月1日 就任予定)

私と末永先生との出会いは、  
香川大学に赴任した1999年4月からです。  
同じ学科(当時は安全システム建設工学科)の  
同僚になります。今年で27年目。  
同期の先生は私たちを含め4人だけになりました。

それを言われるのなら、  
2022年の大学院創発科学研究科を  
発足させたのは末永先生。  
このときも大変だったと思います。

そうですね。私のテーマは「充実・深化」としました。  
今の教育も、研究も、運営も、社会貢献も、  
末永先生が土台を作られました。  
今後は、それらを充実・深化させていく  
必要があると思っています。  
敢えて「進化」ではなく、「深化」と考えます。

外から見た学部の姿は末永先生の言われる通りです。  
さらに学内にも目を向け、学生さん、職員さん、先生方にとって  
満足度の高い学部にできたらと考えています。

在学中に、「共感」できるアイデアを考え、  
アイデアを実行するため「手法/解決策」を  
「創造」し、それを「形」にした上で、「実践」できる能力を  
ぜひ身につけてください。  
このプロセスでは「右ならえ」ではなく、  
畏れることなく個性を発揮することを期待しています。

対談日：2025年8月25日林町キャンパスにて

ボクシングのパンチ「左フック」と台風の軌道は  
密接な関係があります。講義でよく話します。

コンピュータが1台あれば研究はできますから、  
ラボにこもって数値解析をしています。

すえながよしひろ◎1993年日本大学大学院  
理工学研究科博士後期課程海洋建築工  
学専攻修了。2009年香川大学工学部教  
授、2019年創造工学部長、2022年香川  
大学大学院創発科学研究科長を兼務。大学  
時代まで水泳、ボクシングをし、造詣が深い。  
国内はもとより海外のボクシングの試合映  
像を収集、実家に6部屋、8万本を超える。

よしだひでのり◎1995年東京大学大学院  
工学系研究科土木工学専攻博士課程修了。  
2005年香川大学工学部教授、2023年香  
川大学副学長(危機管理・教員評価・学術・  
特命担当)。スコッチ・ウイスキーのシン  
グルモルトを愛する。